

# 「がんばる中小企業・小規模事業者」

## 全国で300社を選定

### 中小企業庁 サンエイ工業、和同産業も

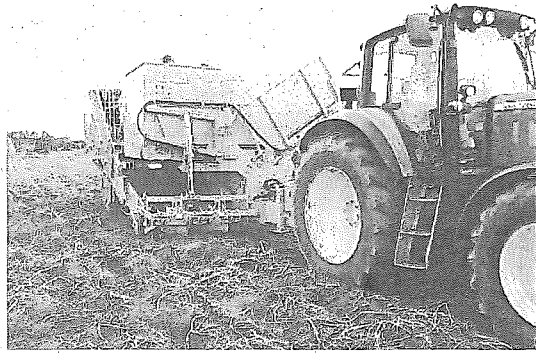
経産省・中小企業庁は3月27日に「がんばる中小企業・小規模事業者」として全国から300社を選定した。革新的な製品開発、創造的なサービスの提供などを通じ、地域経済の活性化や海外での販路開拓に取り組む中小企業などを選定した。業界からは、北海道斜里町のサンエイ工業と岩手県花巻市の和同産業が選ばれている。サンエイ工業は2畦ポテトハーベスタの開発と、和同産業は中・大型除雪機の製造と海外市場に取り組むことが選定の理由として挙げられている。

経済産業省・中小企業庁は3月27日に「がんばる中小企業・小規模事業者300社」を選定、公表した。経産省によると、わが国の事業者の99%を占める中小企業・小規模事業者が、地域経済と雇用を支え、わが国の国際競争力と経済活力の源泉として選定した。

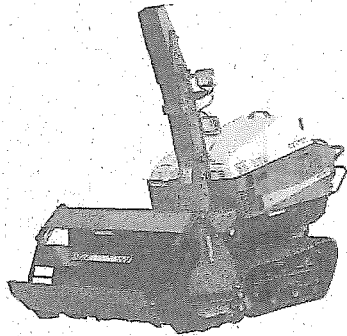
農機業界からは、サンエイ工業(代表取締役社長・毛利剛氏・北海道斜里郡斜里町)と、和同産業(代表取締役社長・照井政志氏・岩手県花巻市)が選定された。サンエイ工業については「創業以来一貫して農作業向け機械を開発、膨大なノウハウをもとに機能設計、制御技術を組み合わせ、高機能の農業機械各種を国内外に送り出す」と評価。その上で、自動制御を搭載した2畦収穫型ハーベスターを国内で初めて開発したと、次のように紹介している。

「同社は、自動制御を搭載した2畦同時収穫型ハーベスターを始めて開発し、これによって、じゃがいも収穫作業の高速化(3倍)が実現、収穫作業の省エネ化に貢献している(写真は同省ホームページの2畦ポテトハーベスターMS-15)。

このほか、同社は欧州連合加盟国の基準を満たす製品を対象としたCEマークを取得したほか、農業機械の通信・制御の国際規格であるCAN-製品面では、2014年に、リチウムイオンバッテリーを搭載した電動除雪機を発表した。



サンエイ工業のポテトハーベ (経産省HPより)



和同産業の除雪機 (経産省HPより)

中小企業庁

サンエイ工業、和同産業など

がんばる中小企業300社

中小企業庁はこのほど「がんばる中小企業・小規模事業者300社」を選定した。農機関係ではサンエイ工業(北海道)、和同産業(岩手県)、(株)トロムソ(広島県)、(株)御池鐵工所(広島県)などが選ばれている。

サンエイ工業(株)は農業機械の製造及び輸入販売・農業機械の修理・農業機械の研究開発に取組、ニッチトップを旨とする農業機械メーカー。自動制御を搭載した2畦同時収穫型ハーベスターを国内で初めて開発し、じやがいも収穫作業の高速化(3倍)が実現し、収穫作業の省エネにも貢献している。

御を自動化したことで、操縦に習熟していない人でも操縦が可能になり、生産者の負担が軽減された。さらに、効率・使い勝手が良く、安全な収穫作業が実現し、じやがいもの打撲、傷が最小限に抑えられるなど、革新的な製品を開発している。欧州連合加盟国の基準を満たす製品を対象としたCEマークを取得した他、農業機械の通信・制御の国際規格であるCAN-BUSやISO-BUSに対応した日本初のポテトハーベスターを開

発している。また、海外展開の本格化を見込み、同社の海外部門を独立。商社機能を専門とする「(株)EZOX」を設立している。

和同産業(株)は10馬力以上のエンジンを搭載した中型・大型除雪機に定評。同分野では、OEM供給を含め国内の生産シェア40%以上を誇る。独自の研究開発部門を持つおり、ここで生まれた技術は、従来の除雪機能を飛躍的に向上させ、WAD Oブランドの核となっている。

製品の特許・実用新案出願数は100を超え、研究開発部門を核にした確かな開発力が創造性を生み、企業オリジナリティの高さとなっている。また、2014年にリチウムイオンバッテリー搭載の電動除雪機を発表し、注目を集めた。

20〜40馬力の大型除雪機に特化し、自社ブランドのみならず大手メーカ

と連携した相手先ブランドによる生産(OEM)に取り組んでいる。

現在、生産工場は岩手県内のみ設置し、地域での雇用創出に貢献している。また、海外展開プロジェクトメンバー3名のうち2名が女性であり、輸出先への対応や新たな海外展開計画の策定などに取り組んでいる。